

子ども・子育て支援に関する アンケート調査

結果報告書 【概要版】

平成 26 年 7 月

三 条 市

目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査実施概要.....	2
3. 調査項目.....	2
4. 家庭の状況.....	3
II 調査結果の解説.....	5
(1) 子育てと仕事の両立.....	6
(2) 子育ての不安や悩みの有無.....	7
(3) 子育ての不安や悩みの内容.....	8
(4) 子育てについての相談相手の有無.....	9
(5) 子育てについての相談相手.....	10
(6) 父親の育児参加.....	11
(7) 子育ての負担感.....	12
(8) 子育てで負担に感じること.....	13
(9) 子育て支援の充実度.....	14
(10) 子どものようす.....	15
(11) 子育てについての幸福感.....	16
(12) 子育てが支えられているか.....	17
(13) 子育てしやすいまちか.....	18

●本報告書利用にあたっての注意点

1. 本文及び図表中の回答者の割合は百分比（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入してある。
したがって、四捨五入の結果、個々の比率の合計が100％にならないことがある。
また、複数回答の質問では、比率の合計は100％を超えることがある。
2. 図表中の「n」は回答者総数（該当者への質問の場合は該当者数）のことで、100％が何人に相当するかを示す、比率算出の基数である。

I 調査の概要

1. 調査の目的

現在推進している「すまいる子どもプラン（三条市次世代育成支援行動計画）」が平成26年度で終了することにもない、現在子育て中の家庭の子育て状況、意見、要望を調査し、新たな計画を策定するための基礎的な資料とする。

2. 調査実施概要

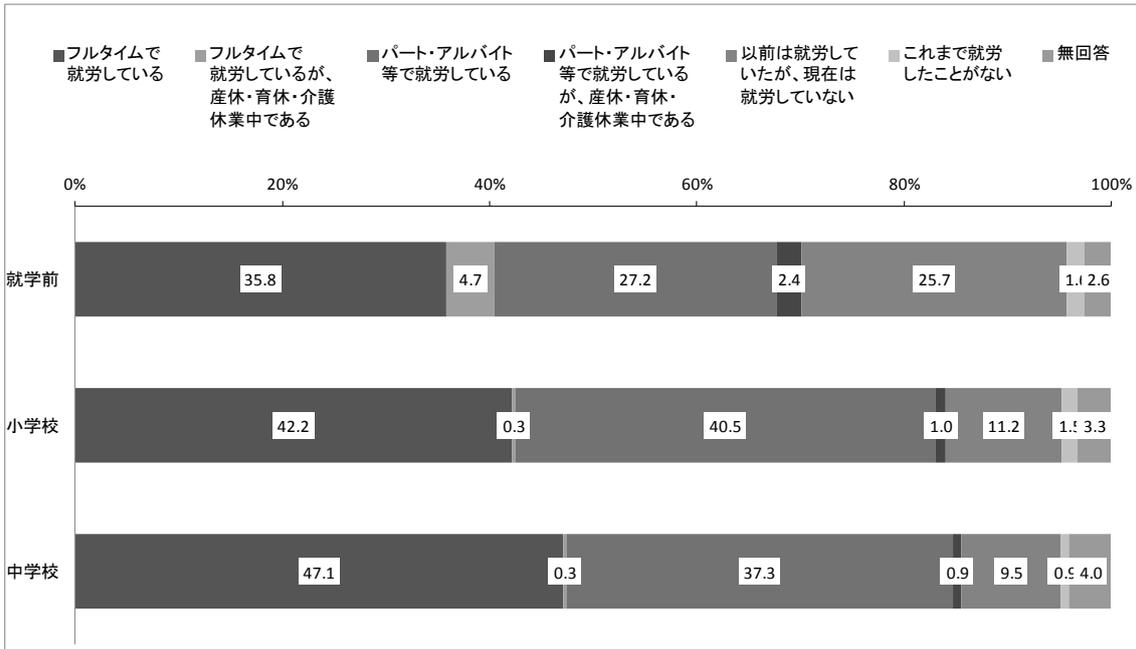
- | | |
|----------|-----------------------|
| (1) 調査地域 | 三条市全域 |
| (2) 調査対象 | 就学前児童、小学生及び中学生がいる家庭 |
| (3) 標本数 | 3,000（人） |
| (4) 抽出方法 | 無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送調査（自記式アンケート） |
| (6) 調査期間 | 平成25年12月14日～12月25日 |
| (7) 回収結果 | 有効回収数 1,568（回収率52.3%） |

3. 調査項目

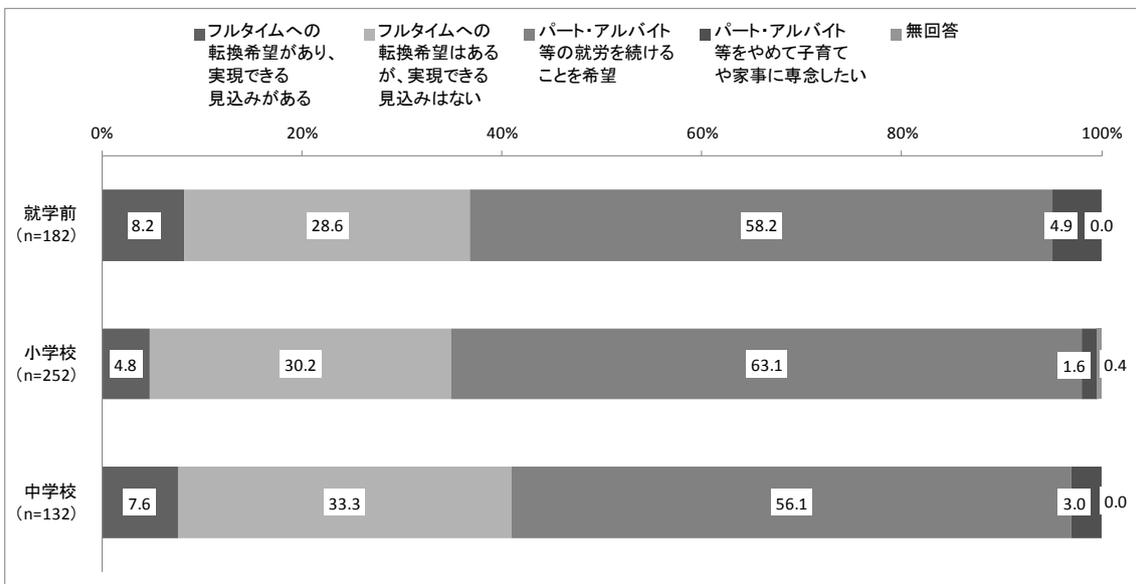
- (1) 『子どもと家族の状況』について
- (2) 『保護者の就労状況』について
- (3) 『病気の際の対応』について
- (4) 『子育て支援事業の利用状況』について
- (5) 『放課後の過ごし方』について
- (6) 『育児休業など職場の両立支援制度』について
- (7) 『子育てで感じていることなど』について

4. 家庭の状況

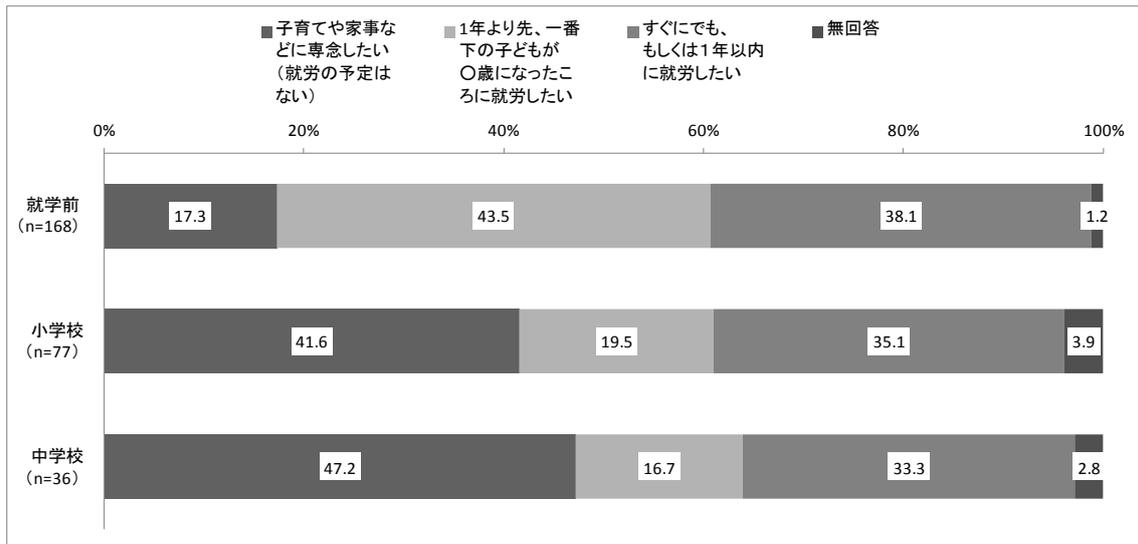
母親の就労状況



母親のパートからフルタイム希望



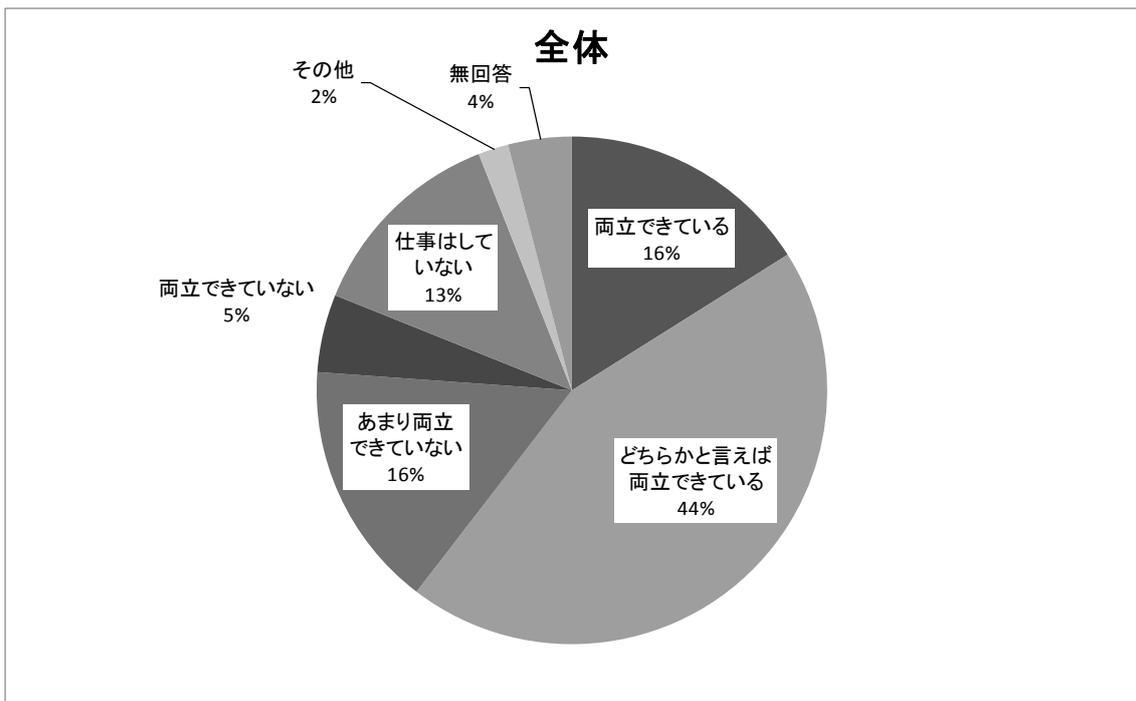
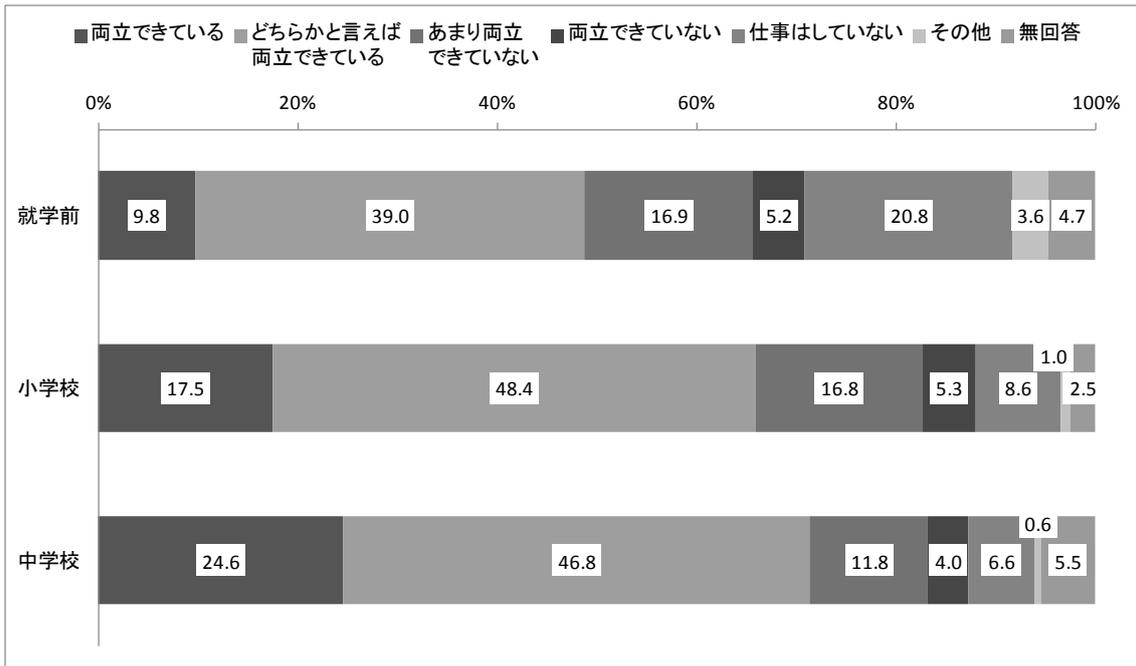
母親の未就労からの就労希望



Ⅱ 調査結果の解説

(1) 子育てと仕事の両立

子育てと仕事が両立できていると思う人の割合
平成 21 年度 67.8% ⇒ 平成 25 年度 60.4%



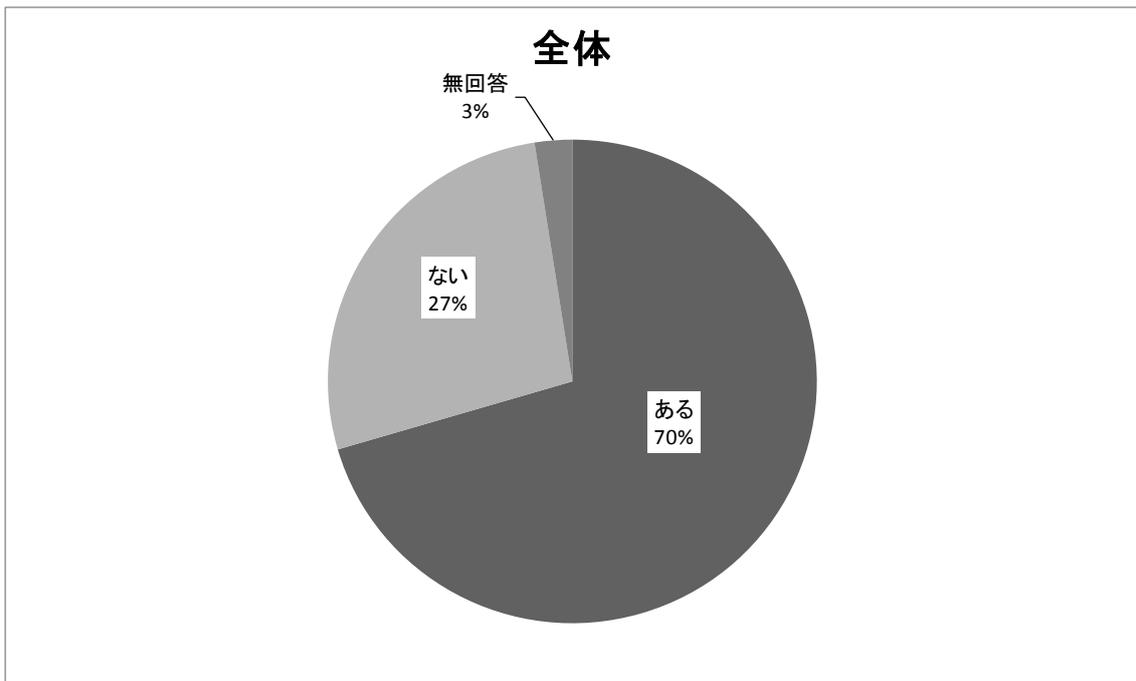
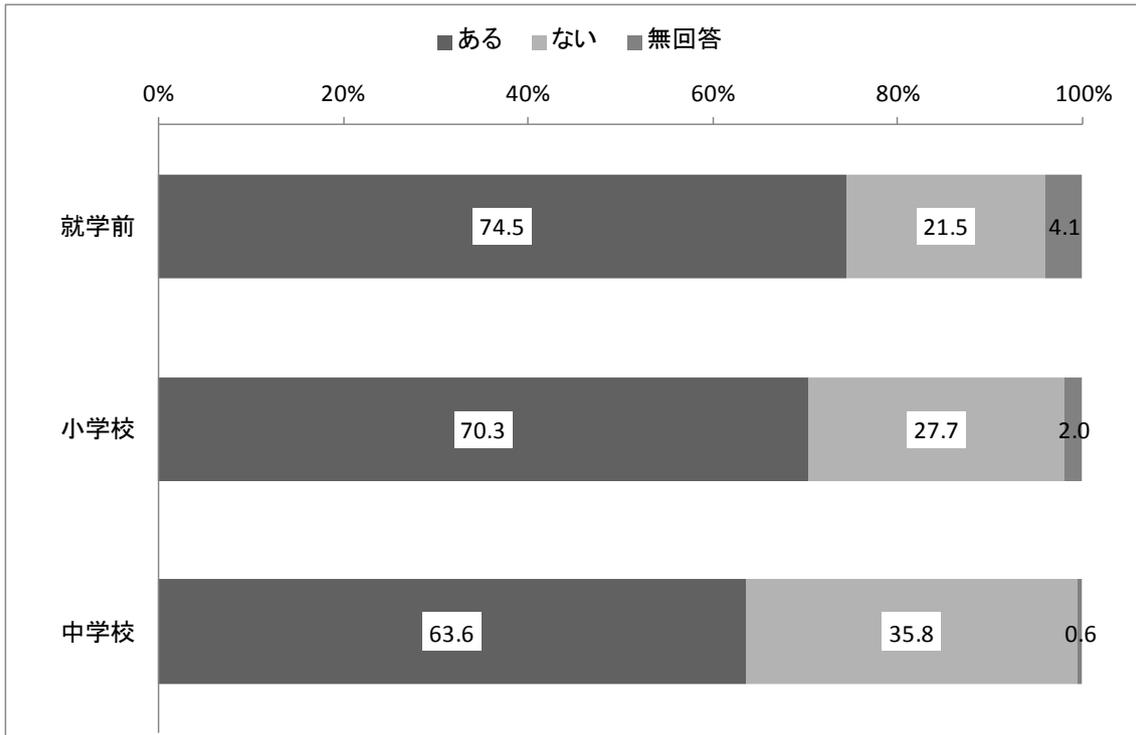
コメント

就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて、「両立できている」「どちらかと言えば両立できている」の割合が上がっている。ただし、「両立できていない」の割合は年齢によりさほど変わっていない。

子育てに不安感を感じている人の割合

平成21年度 63.7% ⇒ 平成25年度 70.5%

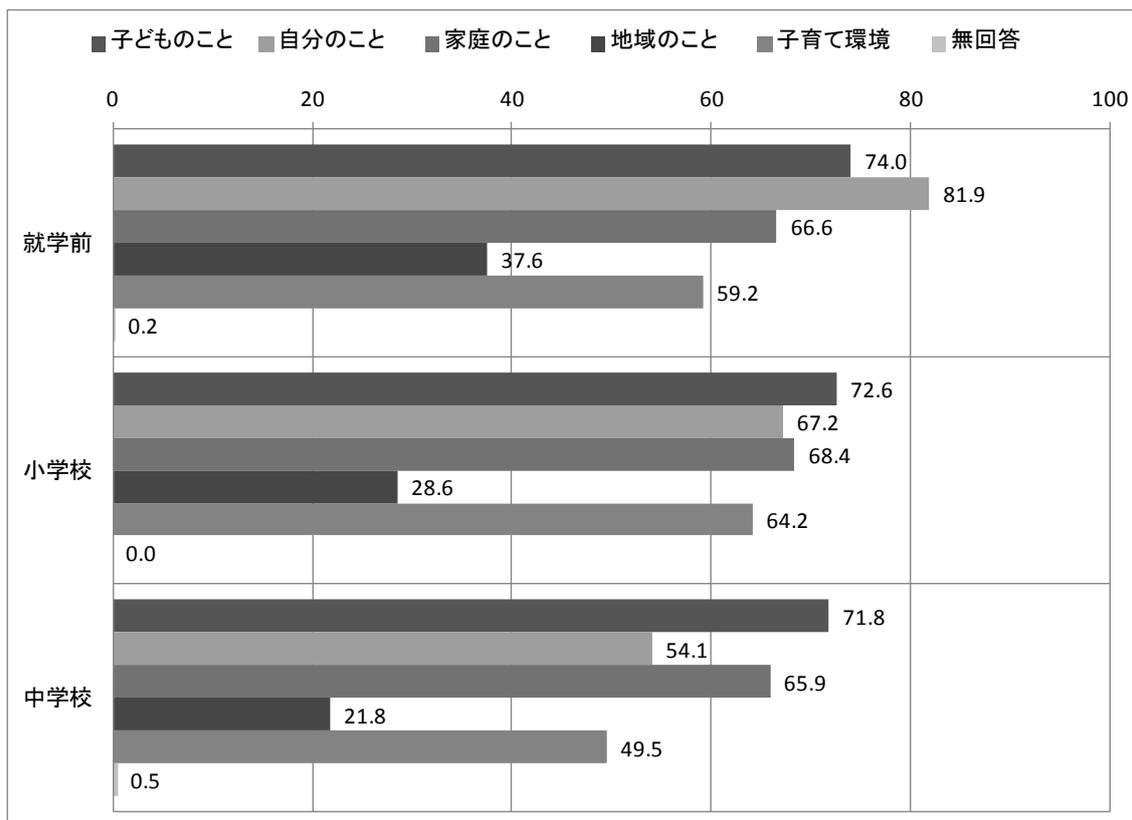
(2) 子育ての不安や悩みの有無



コメント

就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて、子育ての不安や悩みは少なくなっている。

(3) 子育ての不安や悩みの内容



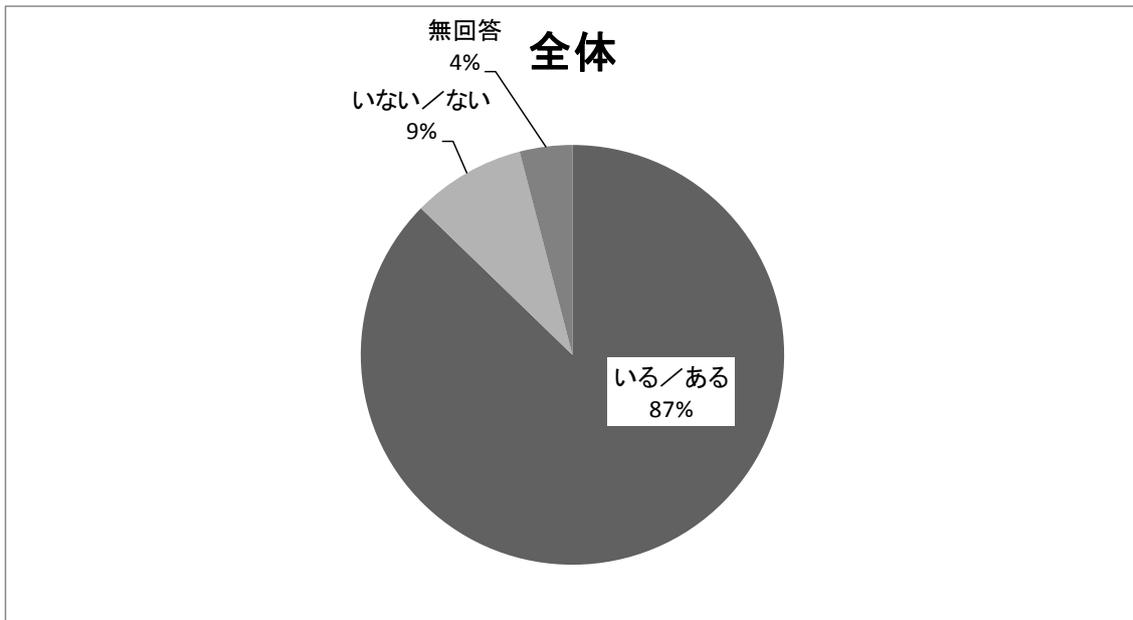
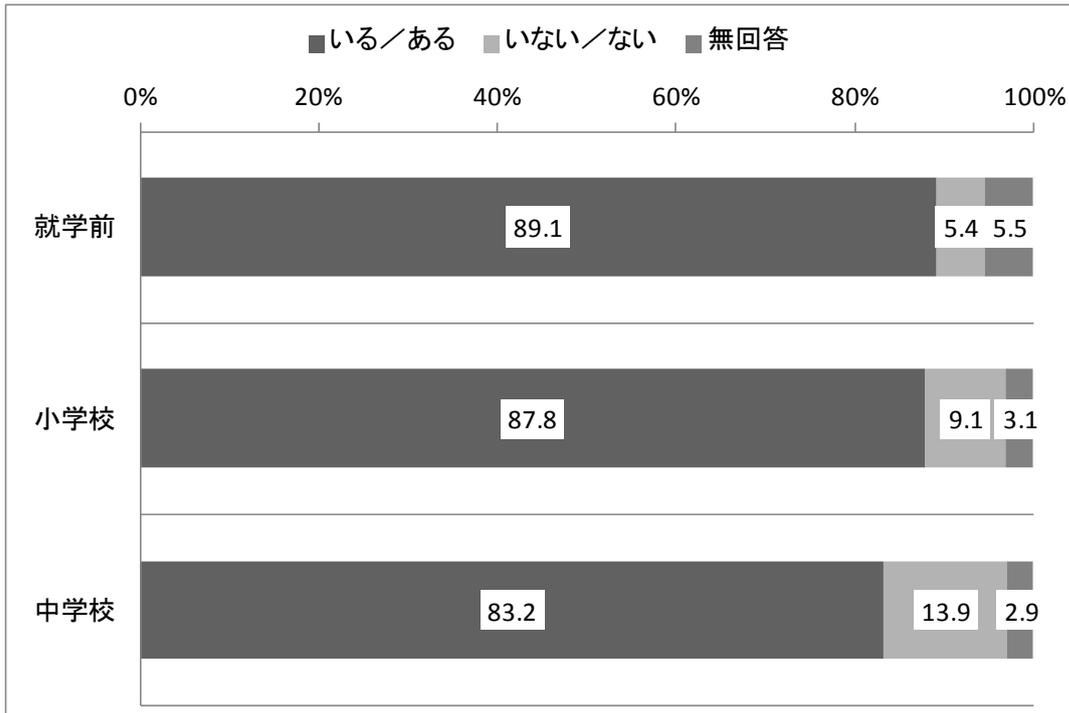
コメント

就学前では、子育ての不安や悩み「自分したこと」が多いが、年齢が上ると「子どものこと」が上位にきている。相対的に「自分したこと」の悩み等が、年齢上がると少なくなり、「子どものこと」が上がってきている。

また、「地域のこと」が就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて少なくなっている。

(4) 子育てについての相談相手の有無

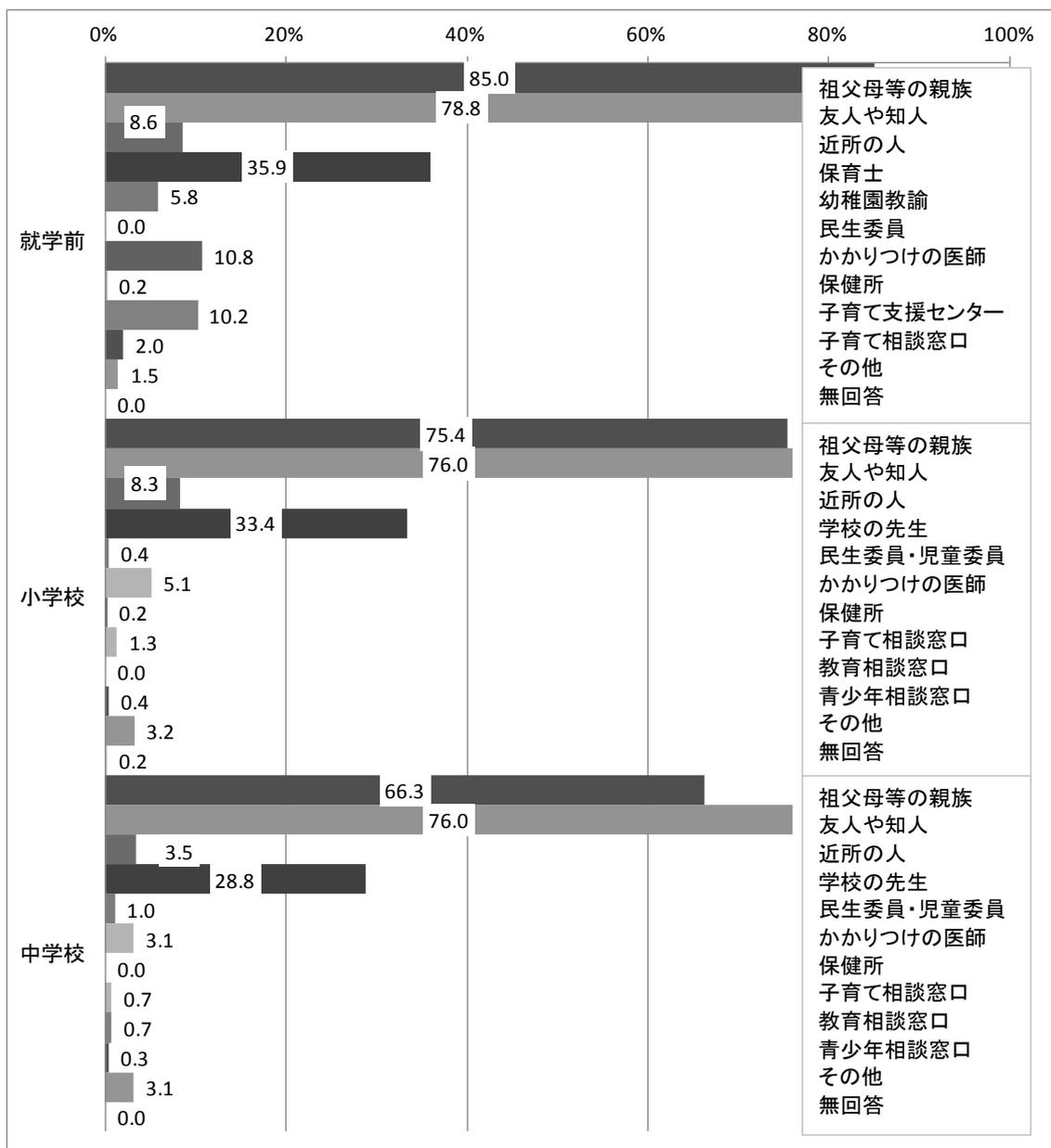
子育てについて気軽に相談できる人がいる割合
平成 21 年度 84.7% ⇒ 平成 25 年度 87.3%



コメント

就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて、若干相談相手がいなくなっている。年齢が上がるにつれて悩み等が少なくなっていることから、相談する必要性が少なくなってきたと想定される。

(5) 子育てについての相談相手



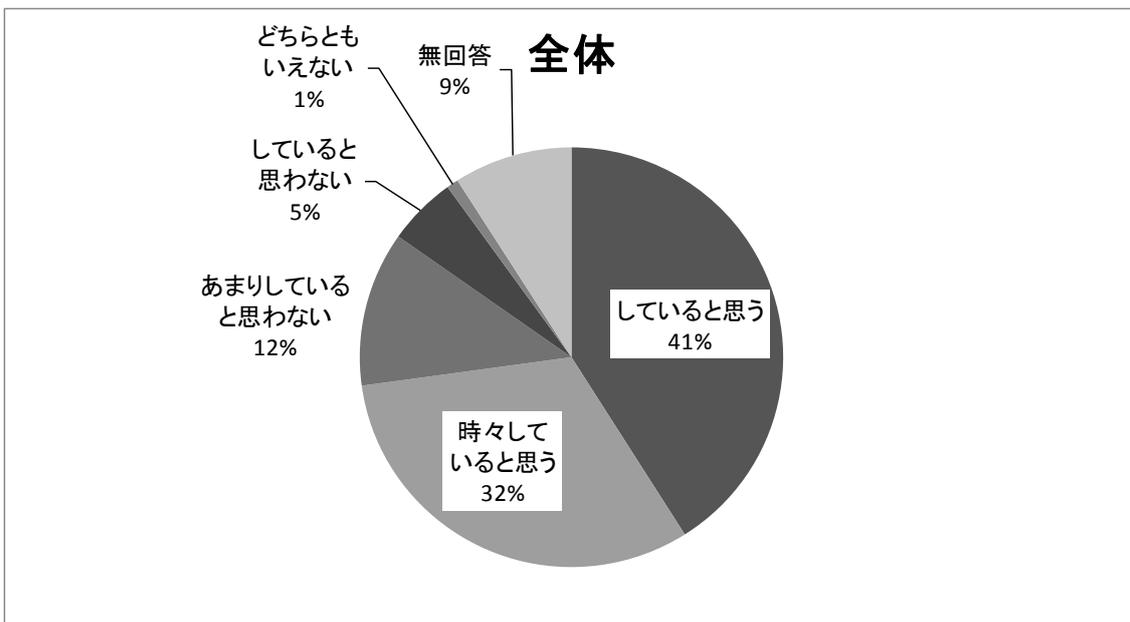
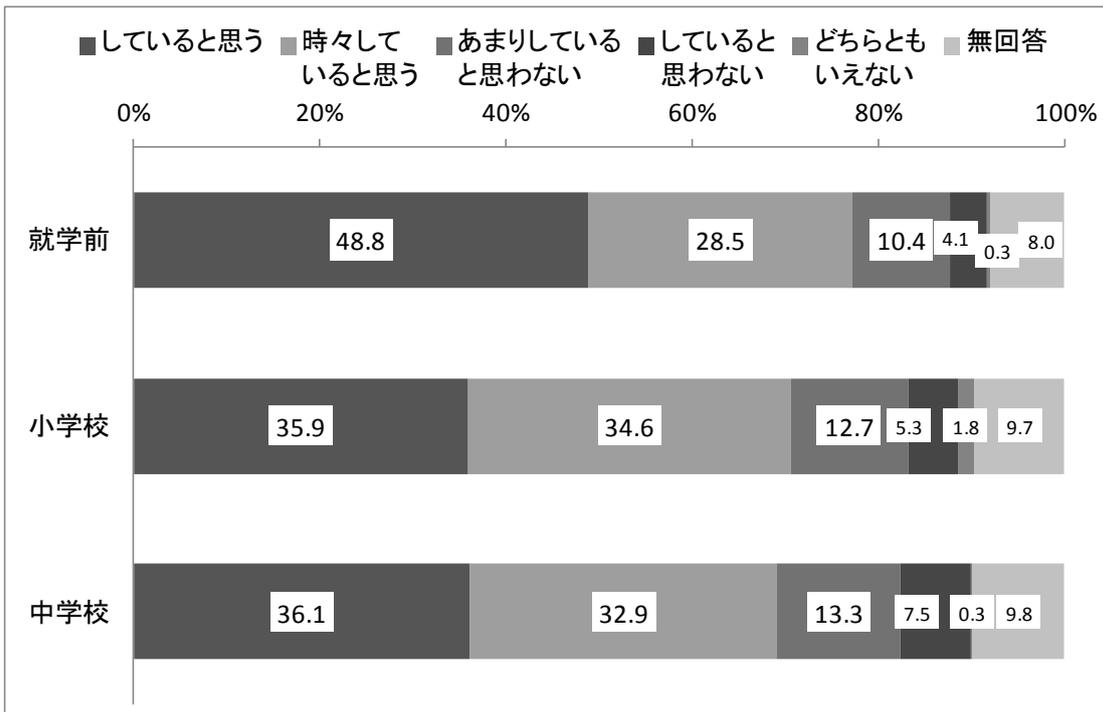
コメント

就学前の相談相手は「祖父母等の親族」が多かったが、小学校、中学校では「友人や知人」が多くなっている。相談内容が違ってくる傾向がある。

(6) 父親の育児参加

父親が育児をしていると思う人の割合

平成 21 年度 79.3% ⇒ 平成 25 年度 72.8%



コメント

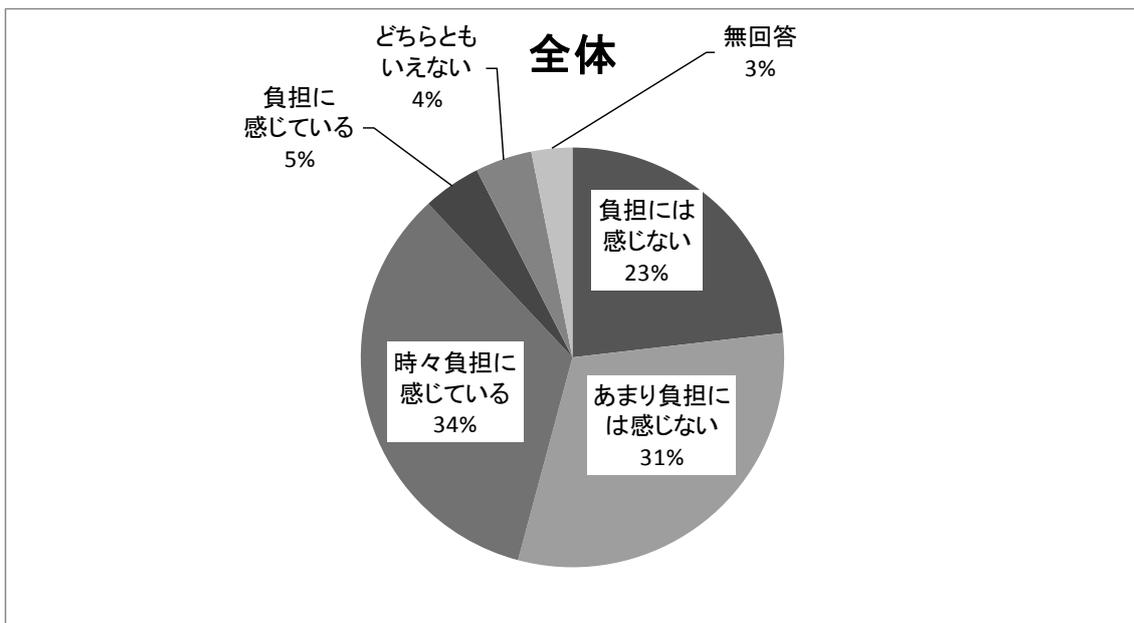
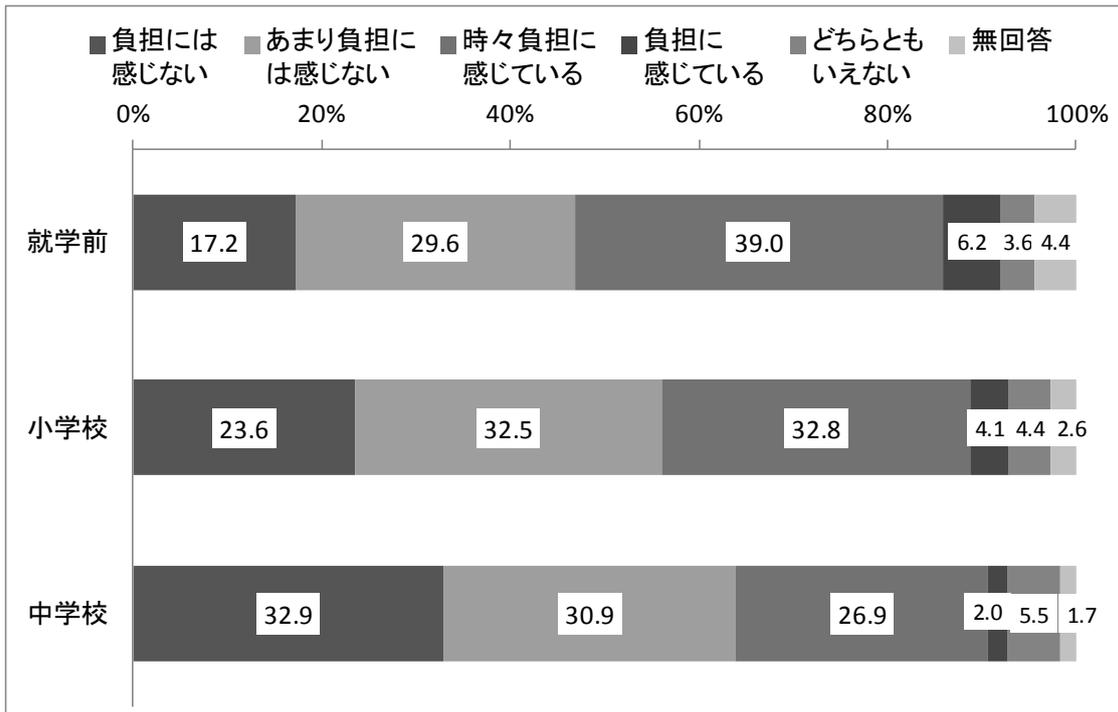
就学前は、父親の育児参加が多いが、小学校、中学校と年齢が上がると若干少なくなっている。

「していると思う」は、小学校より、中学校の方が若干多い。父親の必要が上がる傾向がある。

子育てを負担と感じている人の割合

平成 21 年度 35.7% ⇒ 平成 25 年度 38.4%

(7) 子育ての負担感

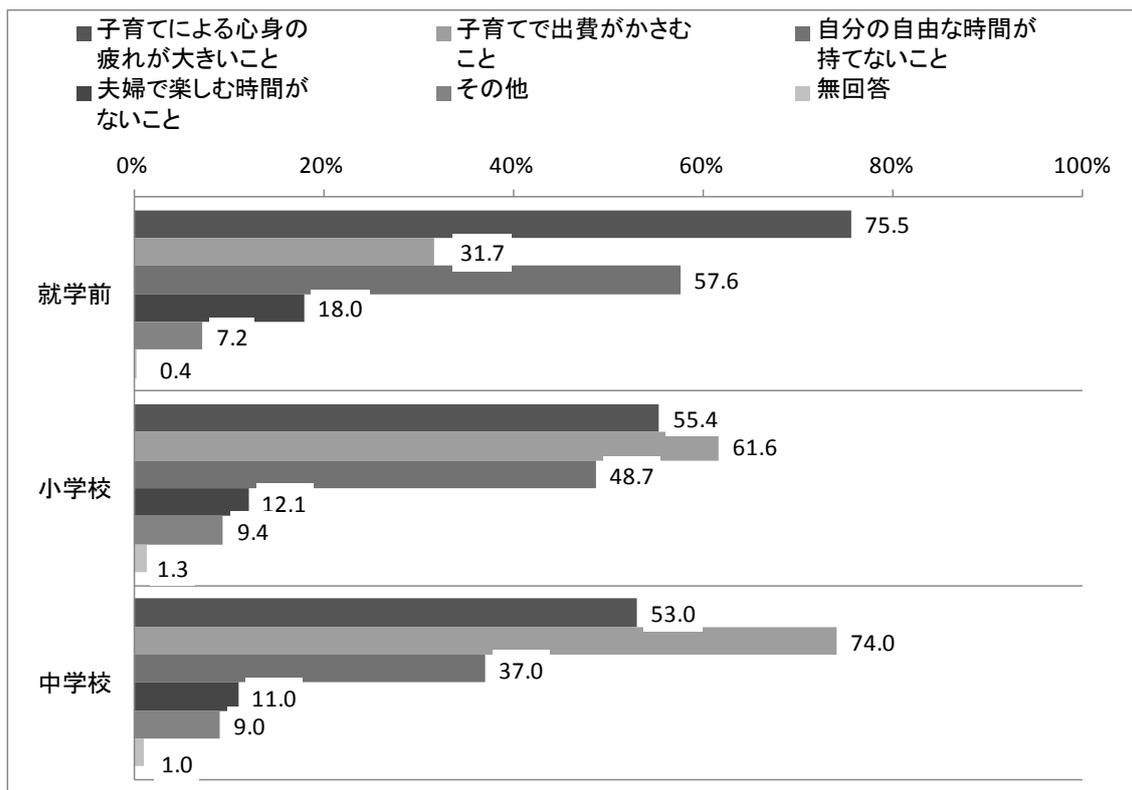


コメント

就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて、子育ての負担感が少なくなっている。

全体として、負担を感じないが半数以上である。

(8) 子育てで負担に感じること



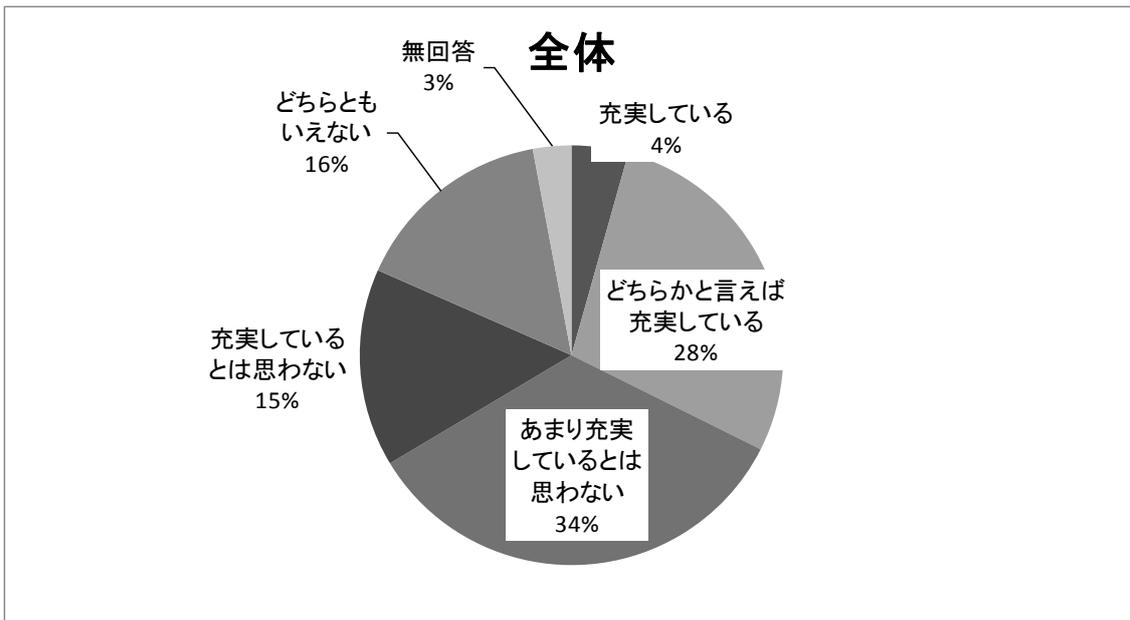
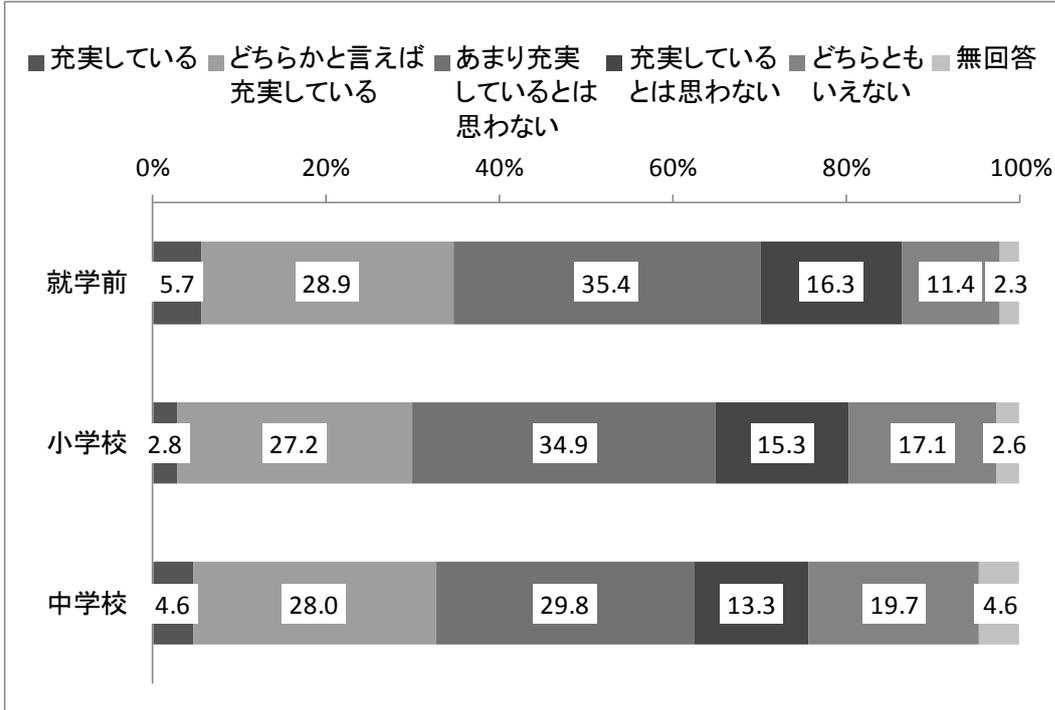
コメント

就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて、「子育ての出費がかさむこと」の割合が増えている。

また逆に、年齢が上がるにつれて「自分の自由な時間が持てないこと」「夫婦で楽しむ時間がないこと」の割合が減っている。

(9) 子育て支援の充実度

保育サービスが充実していると思う人の割合
平成 21 年度 57.7% ⇒ 平成 25 年度 32.4%



コメント

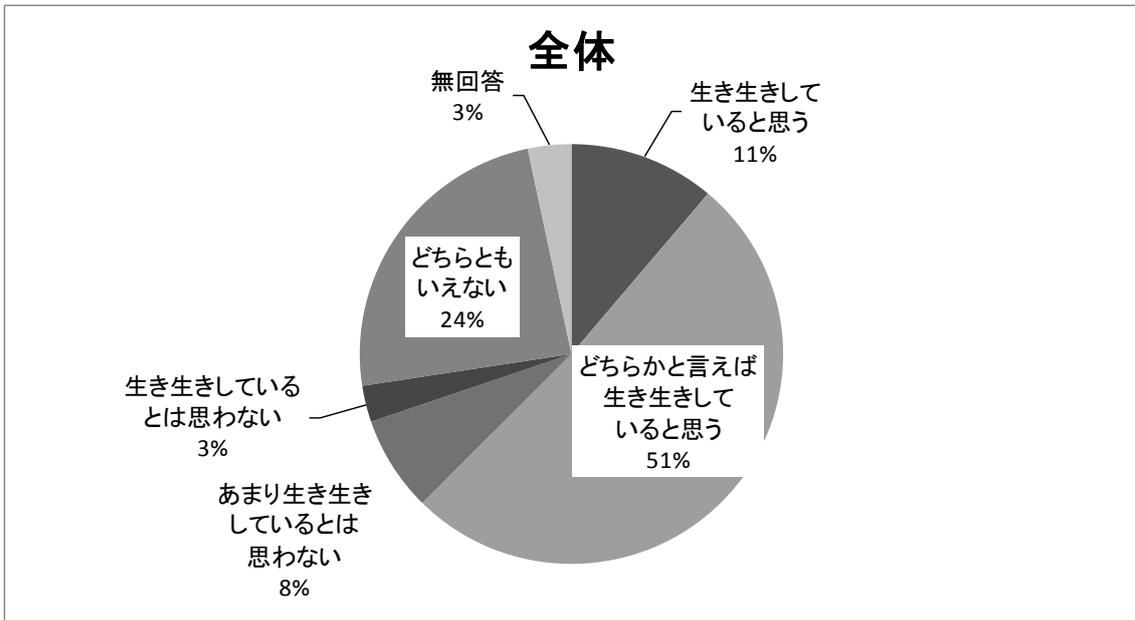
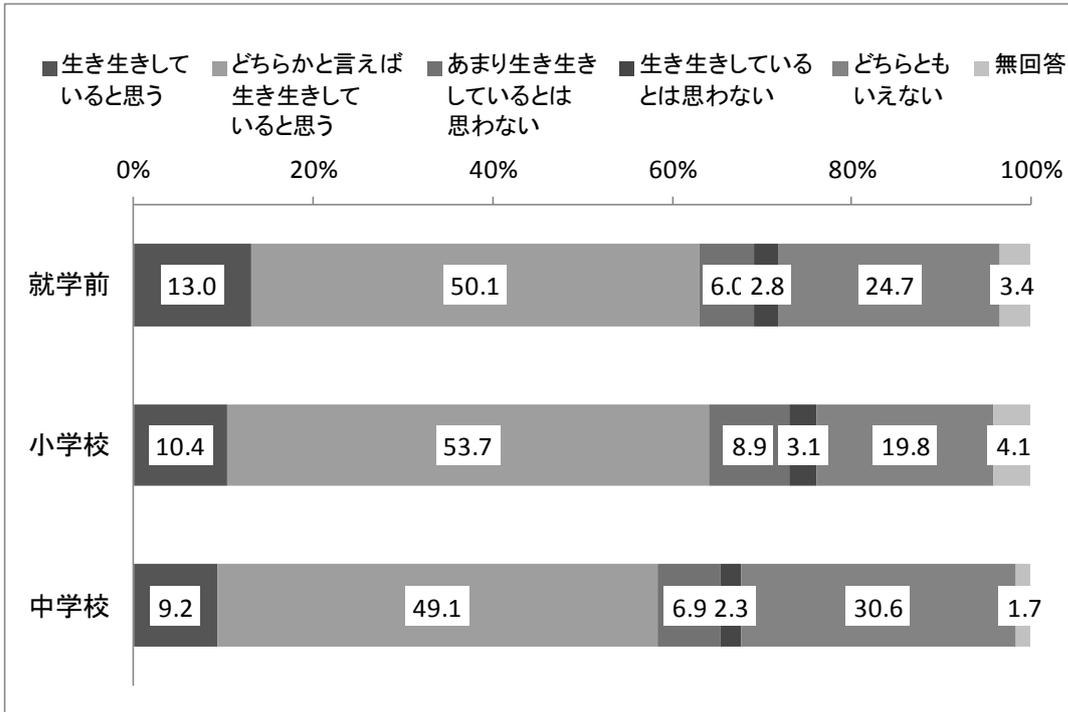
子どもの年齢によって大きな差はない。

全体では、「充実している」「どちらかと言えば充実している」「どちらとも言えない」を合わせても 50% に達していない。充実していないと思う傾向がある。

三条市の子どもが生き生きしていると思う人の割合

平成 21 年度 66.8% ⇒ 平成 25 年度 62.4%

(10) 子どものようす



コメント

全体では、60%以上が生き生きしていると感じている。

就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて、「生き生きしていると思う」が少なくなっている。

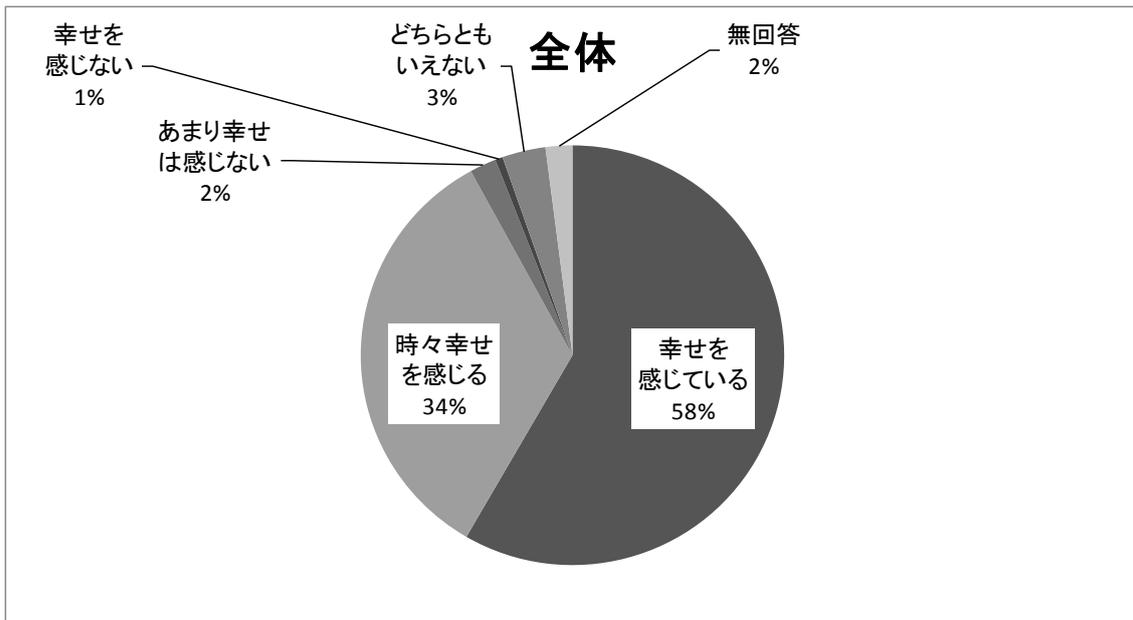
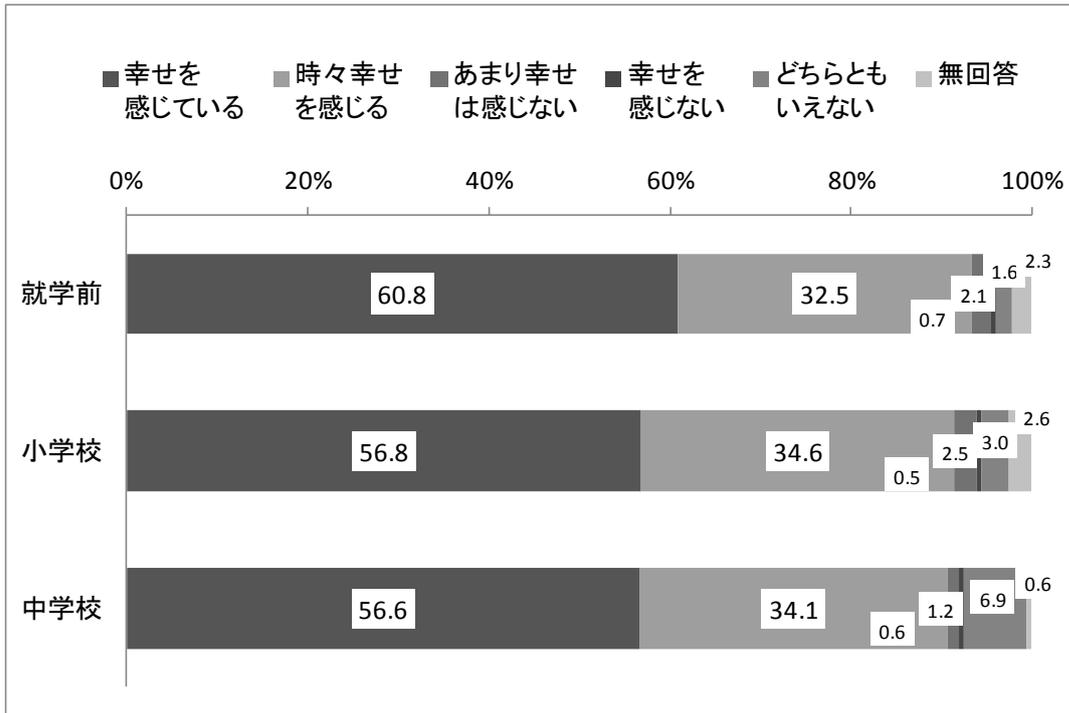
就学前、小学校と比べると中学校で、「どちらともいえない」の割合が多い。

小学校の時は、一番生き生きしていると感じる傾向がある。

子育てに幸せを感じている人の割合

(11) 子育てについての幸福感

平成21年度 97.7% ⇒ 平成25年度 92.0%

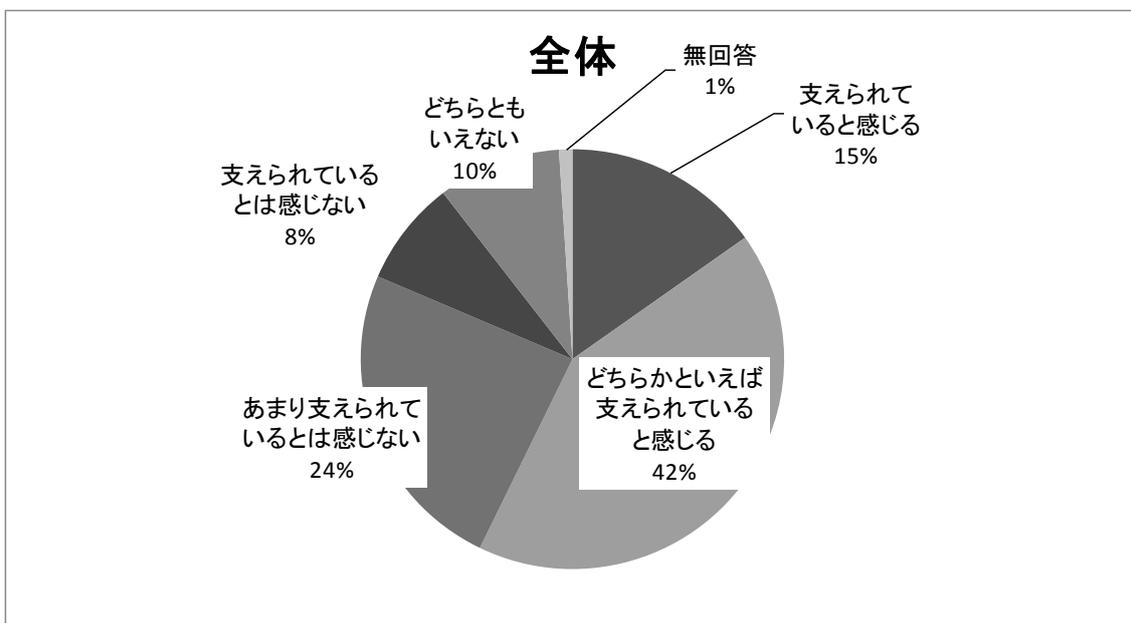
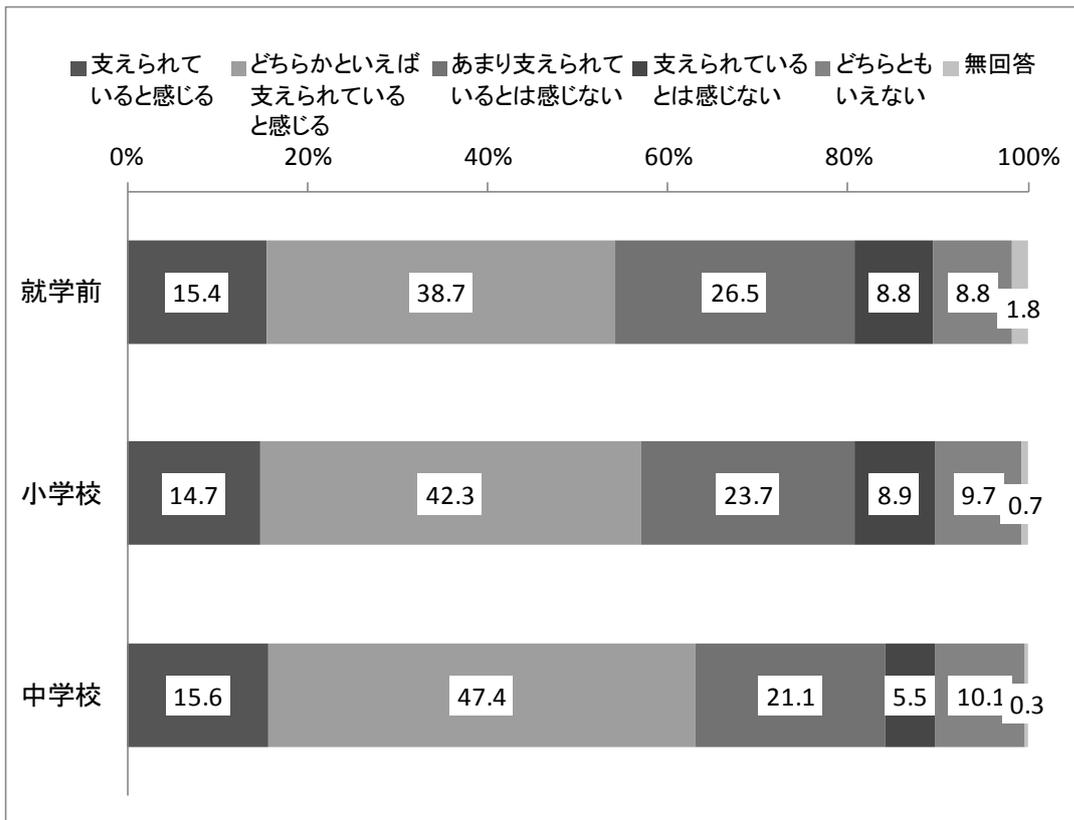


コメント

年齢によって大きな差はない。

全体で、子育てで幸福を感じるは、92%と多い。

(12) 子育てが支えられているか



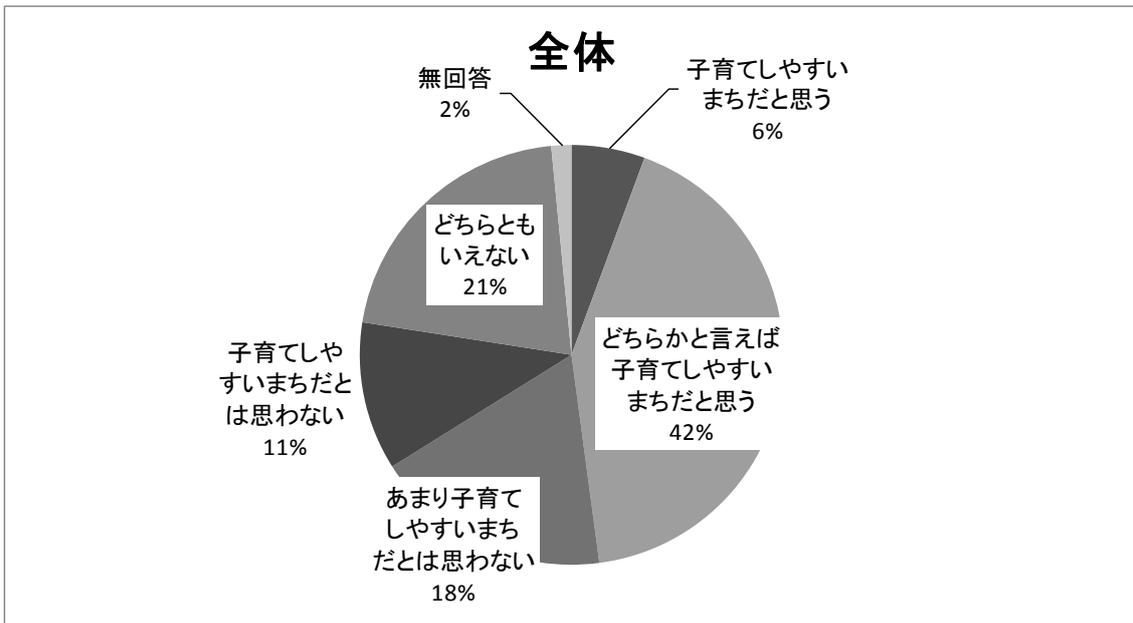
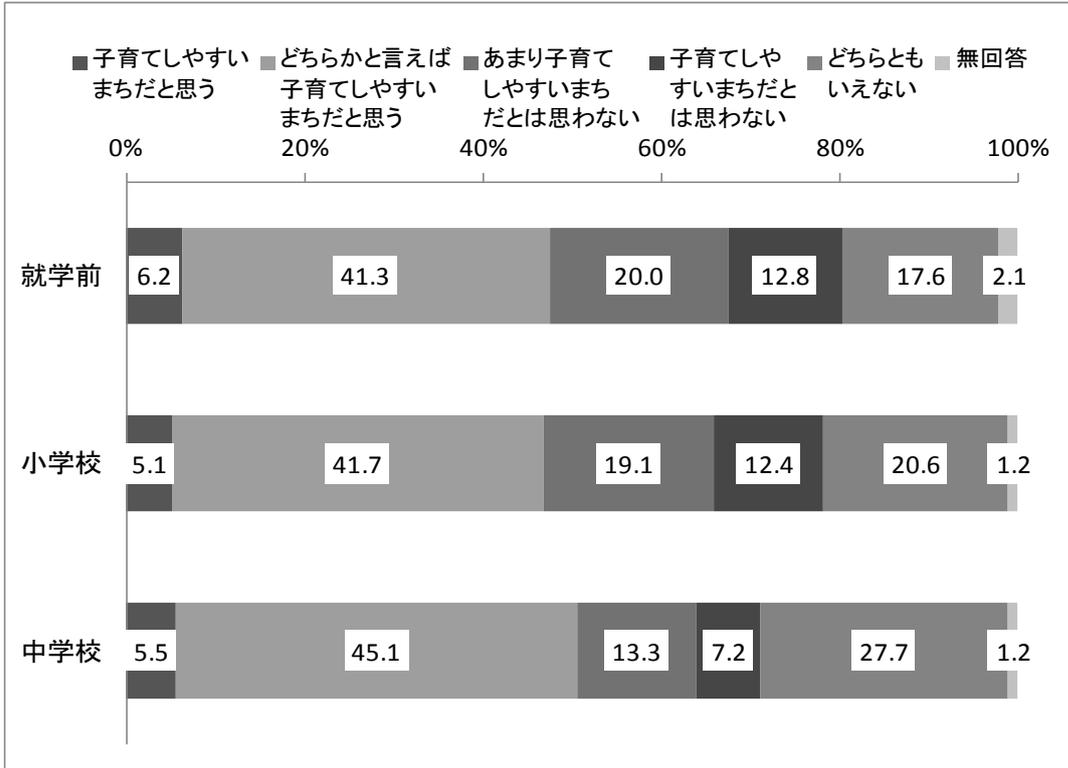
コメント

就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて、「どちらかといえば支えられていると感じる」の割合が増え、「支えられていると感じない」が減っている。

およそ3年前と比べて三条市が子育てしやすい
まちになったと思う人の割合

(13) 子育てしやすいまちか

平成21年度 52.3% ⇒ 平成25年度 47.9%



コメント

就学前、小学校、中学校と年齢が上がるにつれて、「あまり子育てしやすいまちだとは思わない」「子育てしやすいまちだとは思わない」の割合が減っている。徐々に子育てしにくいまちではないと感じる傾向がある。

また、中学校で、「どちらともいえない」の割合が他の年齢と比べると多い。